

1人1台端末の活用による実践事例

学校名	岡山県健康の森学園支援学校	実践者名	古家里華
実践場面 (教科)	長期休業中の家庭学習		
単元・題材名	タブレット端末を使って日記を書こう (知的・高等部)		
学習目標・ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・長期休業中に家庭でプレゼンテーション作成アプリを使って、文字を入力したり、写真を撮影・挿入したりして、日記を完成させることができる。 		
対象の児童生徒の 実態	<ul style="list-style-type: none"> ・文字の読み書きに困難さがあるが、音声入力で文字を入力することができる。 ・文字の読み書きの学習に対しては苦手意識があるが、タブレット端末を活用する学習に意欲的である。 		
活用の概要 (使用アプリ名を含む) ※写真も掲載する			
<p>①担任がプレゼンテーション作成アプリ (Keynote) で、日記の様式を作成する。</p> <p>②生徒 (必要に応じて保護者にも) に、課題の内容や操作方法について実際に生徒と操作しながら伝える。</p> <p>③生徒個人のタブレット端末に様式を入れ、家庭に持ち帰る。</p> <p>④家庭で「いつ・どこで・だれと・なにをした・どうだった」を様式に従って入力する。 日記の内容に合わせて写真を撮影し、撮影した写真を日記に挿入する。</p> <p>⑤生徒が日記をもとに、長期休業中の様子について担任や身近な大人と話をする。</p>			
活用のポイント・改善策等			
<ul style="list-style-type: none"> ・文字の読み書きが難しい生徒でも、音声入力機能を使って文字を入力することができる。 ・学校における普段の学習活動で積極的に用いているアプリや機能を用いて、家庭学習の内容を設定する。 ・担任と生徒、保護者で卒業後の生活において、タブレット端末等の機能代替手段を使っていくことを共通理解し、今後タブレット端末を使ってどのような力を身に付けたいかを明確にした上で課題を設定する。 ・普段から生徒が操作し慣れているアプリを使うことで、家庭でも生徒が自分で写真を挿入したり、文字を入力・削除したりすることができる。 ・日記の様式で「いつ・どこで・だれと・なにをした・どうだった」を文字とイラストで示す。 <p>○課題 (日記) の提出方法として、休業中でもその都度提出し共有ができるように、今後 Google Classroomの活用も検討していきたい。</p>			

